

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、毎週、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

- 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-1111(内線331)
✉ klg110@town.kosa.lg.jp

人間と向き合う医師と命の物語

夏川 草介著 / 『神様のカルテ 2』



小学館
小説

2010年本屋大賞第2位の作品の続編。本庄病院の内科病棟に、主人公・一止の大学の同窓である進藤が着任。だが、進藤の医師としての行動は、かつての姿からは想像もできないもので…。地方病院を舞台に個性豊かな登場人物たちが織りなす、いのちの物語。人の優しさ、温かさに、また泣ける。思っきり泣いて、そして癒されてください。

いつものケーキがもっとかわいく

Junko著 / 『デコ★ロール作っちゃお!』



メディアファクトリー
娯楽教養

絵を描いて焼くだけで、ロールケーキが大変身!。1日に1万アクセスを超える人気ブロガーが編み出したオリジナルのロールケーキ集。バレンタイン、子どものパーティー、手土産、お誕生日など、さまざまなシーンで活躍する、簡単でかわいい32種類を紹介。こんなケーキが作れたらと、見ただけでワクワクする一冊です。

検察と闘った厚労省官僚の445日

今西 憲之著 / 『私は無実です』



朝日新聞出版
一般書

2009年6月、「厚生労働省の星」との呼び声も高かった現役女性キャリアの局長が、大坂地検特捜部に逮捕された。しかし、それは全くのデッチ上げだったという驚愕(きょうがく)の真実。なぜ、地検は暴走したのか。事件の全貌(ぜんぼう)を丹念に描く。逮捕直後から一貫して容疑を否認し、闘い続けた村木篤子さんの長い長い445日。

子どもの日常をユーモラスに描く

丘 修三著 / 『プンタとタロキチ』



文研出版
児童書

キツネのプンタと、タヌキのタロキチは友だち。友だちだけどケンカもする。ケンカもするけど、ふたりはやっぱり友だち!。「サワガニとり」、「うそムシ」、「いけほり」の3編を収録。丘修三さん(本町出身)が、子どもたちの日常をユーモラスに描く、にっこり「なかなかおり」のお話です。子どもたちへの読み聞かせにもぴったり!

町生涯学習センター図書室のご利用について

- 開館時間 午前9時～午後5時 ■ 休館日 毎週火曜日、年末年始 ■ 貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

あ る所に、“はるか”という女の子がいました。

お母さんが、はるかのたんじょう日にケーキを焼いてくれることになりました。はるかは、「のいちごのたっぷり入ったケーキ」と言って、のいちごをつみに行きました。

つみに行くと、「もっといいのいちごがある」とか聞こえてきたので行くと、ほんとにありました。

そのいちごの名前は、のいちごひめと、いもうとひめと、ちびひめでした。

今月の案内人



岡本 愛ちゃん
[辺場区]

その3人をつんで家に持って帰って、ケーキにして食べました。

ケーキを食べ

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『のいちごケーキのたんじょうび』(ほりなおこ作)

今日は、はるかちゃんのうれしい誕生日。お母さんにケーキを焼いてもらうため、森に野いちごを摘みに出かけたはるかは、立派な野いちごを見つけますが…。

て庭に出てみると、種になったのいちごひめたちがいました。

そして、こんなことを言っていました。「わたしたち、らいねんはもっときれいで、もっとおいしいのいちごひめになるわ!!」と言っていました。そして、はるかが、「うん!まってる。」と言いました。

さて、らいねんは、もっとおいしいのいちごケーキが食べられるでしょうか。

みなさんも、読んでみませんか。

読んだら、のいちごケーキが食べたくくなりますよ。

- あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか?

町生涯学習センター図書室

TEL 096-234-1111(内線331)

✉ klg110@town.kosa.lg.jp

◀第3回町民大学 相手の心を打つ絵手紙教室

第3回町民大学は、11月17日（水）町生涯学習センター研修室で、「相手の心を打つ絵手紙教室」を開催しました。講師は、北野智子さん（熊本さわやか長寿財団）で、受講者は23人。季節の果物や野



▲季節の果物や野菜を画材にして絵手紙を描く受講生

菜を画材として、はがきに絵を描く絵手紙を作成しました。受講者たちは、それぞれ準備した柿、柚子、カボチャな

どを下書きなしで描写。集中して画材を見つめ、心のこもった便りとなるようにと絵の具の筆を走らせ、はがきいっぱい描きました。

「絵手紙は、下手でもゆつくり心をこめて描いたものであれば、もらった人はうれいものです」と北野さん。完成した作品は、どれも季節の彩りが鮮やかなものばかり。まさに心を贈る素晴らしい絵手紙になりました。

◀郷土の歴史を訪ねて 乙女地区の史跡を見学

11月19日（金）「郷土の歴史を訪ねて」第3回を開催し、乙女地区の歴史的遺跡を見学しました。

講師は、町文化財保護委員の久米壯亞さん（麻生原区）。受講者は24人。

初めに、船津の東前横穴古墳や支石墓（ドルメン）、麻生原のキンモクセイを見学。次に、第2次世界大戦中に



▲中山の板碑についての説明を聞き見学する受講者たち

舞原飛行場（熊本市城南町）への道路建設のため一時行方不明になった中山の板碑や、元津志田小学校跡を訪問。16世紀の戦国時代に、「舞の原の合戦」で亡くなった人々を埋葬した府領の首塚について説明を聞きました。各地の史跡を巡り、甲佐の歴史を改めて学びました。

▶イベント開催のご案内

クリスマス童謡コンサート

町生涯学習センター自主文化事業として、「クリスマス童謡コンサート」を開催します。

●日時 12月18日（土）

・開場 午前10時30分

・開演 午前11時

●会場 町生涯学習センター
ホール

●出演 「DOYO組」

●入場料 無料

※ご来場の際には、コンサートのチラシに掲載しました「入場整理券」をお持ちください。

●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-1111(内線321)

✉klg110@town.kosa.lg.jp

Human Rights

人権 ～自分らしく生きるために～

感染症などへの正しい理解と H I Vをめぐる人権について

H I V感染症とは

H I Vとはヒト免疫不全ウイルスのことであり、H I Vに感染した結果、抵抗力が落ちて健康なときにはかかわらないような感染症にかかったり、悪性腫瘍（しゅよう）を起しやすくなった状態をエイズ（A I D S、後天性免疫不全症候群）と呼びます。

感染源は血液、精液、膣分泌液、母乳の4つで、感染経路も限られており、職場や家庭での日常生活では感染する心配はありません。

エイズについての正しい知識の不足から、H I V感染者やエイズ患者に偏見を持ったり、差別したりする人がいます。本人や家族に対する職場での差別や、家族の入園・入学や登園・登校の拒否、医療現場における差別、プライバシーの侵害などが社会問題となっています。

今後、取り組むべきこと

エイズやH I V以外にも、C型肝炎など、病気に対する誤った知識や誤解から感染者やその家族が差別や偏見で苦しむ例が起こっています。

これらの感染症は、職場での正しい

理解と適切な環境があれば、本人の健康状態に配慮しながら共に働くことが十分に可能です。また、病気への感染は、仕事の適切な能力には一般的に無関係なので、感染を理由として採用や昇給・昇格、配置転換などで差別的な処遇をすることは許されません。

正しい知識と感染者への配慮、共に生きる姿勢が必要です。

●人権に関するお問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎096-234-1111(内線323)

✉klg110@town.kosa.lg.jp